

❖ 科目名 Course Title			
中南米の言語と文化 [Language and Culture of Latin America]			
❖ 担当教員 Instructor			
ロメロ イサミ [ROMERO Isami]			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	10	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words			
中南米 ラテンアメリカ			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
この授業の基本的な目的は、中南米諸国の社会や制度について知るための授業であります。			
❖ 授業概要 Course Description			
中南米諸国を理解するために、音楽、文化、スポーツ、政治、社会問題など様々な視角から行います。履修者数は20人です（帯広畜産大学）。授業ではMoodleを使います。			
❖ 到達目標 Course Goals			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生は各授業の事前に文献を読み、Critical Essayを書き、教員はその内容に基づいて講義をすすめる、ディスカッション能力を深める（技能） ・ 中南米地域に関する全体情報を理解できる知識を身につく（知識） ・ 学生は各授業の事前に文献を読み、Critical Essayを書き、教員はその内容に基づいて講義をすすめる、ディスカッション能力を深める（技能） ・ 中南米の社会・経済問題への理解を深め、その状況を日本と比較する（理解・関心） ・ 音楽、文学、映画などを通じて中南米への関心を強める（関心） ・ Critical Essayを通じて論理的な文書の書き方を学ぶ（技能） ・ 期末レポートとして簡単な企画書の書く（技能） 			
❖ 授業計画 Course Schedule			
第1回 中南米地域の歴史と文化とは？ ガイダンス（レポート・論文の書き方に関する基礎を学ぶ）			
第2回 異文化問題（ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ） Ulises Granados, Salsa y videojuegos			
第3回 中南米の歴史（ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ） 増田義郎『物語ラテンアメリカ』（中央公論新社、1998年）			
第4回 反米主義（ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ） 伊藤千尋『反米大陸』（集英社、2007年）			
第5回 スポーツ 1（ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ） サッカー 映画『マラドーナ』（エミール・クストリッツァ監督、2008年） エドゥアルド・ガレアーノ『スタジアムの神と悪魔—サッカー外伝』（みすず書房、1998年）、111-119、167-168、236-237。			
第6回 貧困問題（ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ） 『ともだちになろう！ in Mexico』（篠田有史 監督、1999年）			
第7回 中南米の音楽（ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ） 石橋純「中南米の音楽：その歴史と特徴」『中南米の音楽』（東京堂出版、2010年） 比嘉マルセーロ「色時代の音楽：独裁政権下のアルゼンチン・ロック」 『中南米の音楽』（東京堂出版、2010年）			
第8回 日系人（ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ） 高橋幸春『日系人の歴史を知ろう』（岩波書店、2008年）			

第9回	ラテンアメリカの文学 1 (ディスカッション能力を深める) ガブリエル・ガルシア＝マルケス「電話をかけに来ただけなの」 『予告された殺人の記録／十二の遍歴の物語』(新潮社、2008年) ファン・ルルフォ「殺さねえでくれ」『燃える平原』 (書肆風の薔薇、1990年)
第10回	革命家エルネスト・ゲバラ 映画『モーターサイクル・ダイアリーズ』(W. サレス・2004年) 太田昌国・星野智幸「ゲバラとは誰か」『現代思想』第32巻第13号 (2004年) 12～26頁。
第11回	革命家エルネスト・ゲバラ (ディスカッション能力を深める) 映画『モーターサイクル・ダイアリーズ』
第12回	ラテンアメリカ文学 2 (ディスカッション能力を深める) マリオ・バルガス＝リョサ「小犬たち」『ラテンアメリカ五人集』 (集英社、2011年) 63～128頁。 ファン・カルロス・オネッティ「ハコボと他者」『はかない人生・井戸・ ハコボと他者』(集英社、1984年) 315～360頁。
第13回	スポーツ 2 (ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ) 加藤隆浩「ルチャ・リブレー大衆文化のかたち」加藤隆浩編 『ラテンアメリカの民衆文化』(行路社、2009) 35-58ページ
第14回	ラテンアメリカ文学 3 ((ディスカッション能力を深める) フリオ・コルタサル「南部高速道路」『悪魔の涎・追い求める男』 (岩波書店、1992年) 177～219頁。 オラシオ・キローガ「羽根まくら」『野生の蜜』(国書刊行会、2012年) 17～20頁。
第15回	農業 ((ディスカッション能力を深める・論理的な文書の書き方を学ぶ) 山本紀夫「中南米から世界へーコロンブスが持ち帰った香辛料」 山本紀夫編『トウガラシの讃歌』(八坂書房、2010年) 渡辺庸生「トウガラシを演出するメキシコ料理」山本紀夫編 『トウガラシの讃歌』(八坂書房、2010年) “El alimento mágico, el pulque”
❖ 成績評価 Grading System	
毎回のCritical Essay (50%) 1000字程度 (論理的な文書の書き方を学ぶ) 期末レポート (50%) 4000字程度 (論理的な文書の書き方を学ぶ)	
❖ テキスト Textbooks	
増田義郎『物語ラテンアメリカの歴史』(中央新書、1998年) 伊藤千尋『反米大陸』(集英社、2007年) 高橋幸春『日系人の歴史を知ろう』(岩波書店、2008年) 文学作品は帯広畜産大学附属図書館にあります。 小論文のいくつかは「中南米の言語と文化」のMoodleページでダウンロードができます 帯広畜産大学以外の大学:著作権の関係でDVD、文学作品を用意する必要があります。 これがないければ、授業を配信できません。	
❖ 参考書 Reading List	
大貫良夫ほか編『ラテン・アメリカを知る事典』(平凡社、2013年) 高橋均・網野徹哉『ラテンアメリカ文明の興亡』(講談社、2009年) 寺尾隆吉『ラテンアメリカ文学入門』(中央公論新社、2016年)	

<p>❖ 準備学習 Homework</p> <p>授業では、二つのタスクを中心に行う。</p> <p>1. レポート: 受講生は、各授業の前に小論文、または本を読み、定期的にCritical Essayを提出しなければいけません。1000時程度(引用文は字数には入りません)のCritical Essayを書き、トピックを取り上げる授業の二日前(日曜日、22:00)までに、moodleのサイトを使って下さい。映画・ドキュメンタリーについては、DVDを見た三日後(金曜日、22:00)までにMoodleで答えて下さい。</p> <p>2. ディスカッション: 講師は学生たちが提出したレポートに基づいてディスカッションを進めます。学生が欠席した場合、critical essayは0点になります。(病気、親族の死亡を除く)。</p>
<p>❖ オフィスアワー Office Hour</p> <p>水曜日 13:00~14:30 Eメールでの質問や相談も受けますが、必ず本文に学籍番号と氏名を明記してください。これを守らないメールには返信しません</p>
<p>❖ 連絡先 (E-mail) E-mail</p> <p>romeroisami*obihiro.ac.jp (*を半角アットマークに変えて送ってください)</p>
<p>❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information</p> <p>帯広畜産大学の学生は、メール、またはオフィスアワー。 帯広畜産大学以外の学生 メールのみ。</p>
<p>❖ 履修上の注意 Notes</p> <p>Moodle Moodleのアカウントを持っていること。 帯広畜産大学以外の学生には、教員がアカウント作成の情報を提供します。</p> <p>携帯使用 授業では携帯を必ず消してください。携帯を使った場合、授業から退出してもらいます。</p> <p>授業中での睡眠 授業中に睡眠した場合、授業から退出してもらいます。</p> <p>出席規則 授業への出席は必須条件です。授業で行われるタスクに積極的に参加するのは、極めて大事なことです。いわば、クラスを欠席しているなら、タスクに全く参加することができず、最大のメリットを習得できないという事です。 病気、親類が亡くなった場合は、欠席として扱わないが、病気の場合、医師の書類がない場合は欠席と見なします。サークル・部活の遠征の場合は欠席です。</p> <p>1. 全体の出席日数が70%に達してなければなりません。 もし出席日数がない場合は、(正当な理由書類提出がない場合) 期末レポートを提出する権利を失います。欠席が5回の場合、期末レポートの権利を失います 2. 遅刻: 3回の遅刻は、1回の欠席とみなされます。時間を守って遅刻を避けてください。</p>
<p>❖ 備考 Other Information</p> <p>http://www.obihiro.ac.jp/~romero/latinoamerica/latinoamericaindex.html</p>

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外の人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。